

病害虫防除技術情報第18号

令和6年11月25日
三重県病害虫防除所

クビアカツヤカミキリが確認されました。

1 対象作物：モモ、ウメ、スモモ、サクラ等バラ科樹種

2 対象病害虫名：クビアカツヤカミキリ

3 発生状況

(1) 2024年10月に、桑名市、四日市市の街路樹および公園のサクラにおいて、クビアカツヤカミキリの寄生が確認されました。

(2) クビアカツヤカミキリは2019年に木曾岬町で確認されています。

(3) 現在のところ県内の農地における発生は確認されていませんが、今後農地へ侵入のおそれがあるため警戒してください。

(4) 2012年に国内で初めて発見されて以来、14都府県で発生が確認されています。発生地では公園等のサクラで枯死する被害、一部の府県では果樹園のモモ、スモモ、ウメ等で被害が出ています。

4 本種の特徴

(1) 成虫は全体に光沢のある黒色で、赤い胸部が特徴です。また、体長は2.5～4 cmで、長い触角が特徴です(図1)。

(2) 幼虫が入り込んだ樹木からは、ひき肉状につながったフラス(糞と木くず、図2)が排出されます。フラスは木片を薄く削ったような形状をしています。特に6月から9月によく見られます。

(3) 成虫は6月から8月頃にみられます。

(4) 樹皮の亀裂やめくれのあるところに産卵します。産卵数が非常に多く、1匹の雌が1,000個以上の卵を産むこともあります。

(5) 幼虫は幹の表面から少し内側にある内樹皮の部分を加害します。樹幹が全周にわたり加害されると樹木が枯死します。

(6) 幼虫期間は基本的に2年間で、3年目の夏季に成虫になって出てきます。



図1 クビアカツヤカミキリ成虫
※図1、2は三重県林業研究所撮影



図2 フラス

5 被害を発見した場合

- (1) 成虫を発見した場合は、直ちに捕殺してください。外来生物法により、生きたまま持ち運ぶことは違法とされています。
- (2) 成虫や被害が疑われる樹木を発見した場合は、「クビアカツヤカミキリ発見情報収集フォーム」または下記問い合わせ先に情報をお寄せください。

クビアカツヤカミキリ発見情報収集フォーム

URL : <https://logoform.jp/form/8vMX/809346>

※パソコン、スマートフォンから入力できます。



- (3) 防除法には、被害樹の伐採、フラス排出孔への薬剤注入、樹幹注入、成虫を対象とした薬剤散布などがあります。詳細については、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所の「クビアカツヤカミキリの防除法」で確認できます。

URL : <https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/5th-chuukiseika12.html>

- (4) その他防除については下記問い合わせ先にご確認ください。

6 問い合わせ先

- (1) 農地で被害を発見した場合

三重県病害虫防除所：電話 0598-42-6365

- (2) 公園、街路樹など農地以外で被害を発見した場合

三重県農林水産部 みどり共生推進課 野生生物班：電話 059-224-2578

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。